



2010年8月30日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 吉伸
コード番号 6302
問合せ先 IR広報室長 大島秀夫
TEL 03-6737-2333

中国唐山工場 大型設備投資について

当社は、平成22年8月30日開催の取締役会において、中国河北省にある唐山工場に対し、今年から来年にかけて総額100億円強の追加設備投資の実施を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 投資内容

	住友重機械（唐山）有限公司	住友建機（唐山）有限公司
事業内容	変減速機	油圧ショベル
投資額	35億円	71億円
投資内容	生産設備の増強、および建屋の増設、土地の取得	
現在の生産能力	500-700台/月	2000台/年
投資後の生産能力 (2012年)	1250台/月	5000台/年
これまでの投資額 (参考)	(47億円)	(51億円)

2. 背景

当社は、成長著しい中国市場の販売を強化するため、2007年12月に唐山工場（上記現地法人2社）を設立し、2009年2月より生産を開始しています。工場稼動が順調に軌道に乗っていることもあり、前倒しで生産能力の増強を行い、引き続き市場の拡大が見込まれる中国に対する展開を、積極的に推し進める必要があると判断いたしました。

変減速機は、当社グループがグローバルに事業展開をする中で、中国国内においては天津と上海の2箇所にも既に工場を開設し、中国全土に販売を行っています。唐山工場では、中大型減速機であるギヤボックスの生産をしており、現在は鉱山機械向けの中型減速機や、水処理場などインフラ向けの機種を揃えています。今回、それらの生産台数を増やすとともに、鉱山機械向けの大型機種や製鉄機械向けの特殊機種などの新しい商品も加え、対象市場を拡大してまいります。

油圧ショベルは、初の海外工場として2009年6月から唐山工場で生産を開始しました。現在当初の生産計画を前倒ししてすでにフル生産の状況にあり、本年度は年間2000台を生産予定です。しかし市場の拡大に供給が追いつかない状況から、設備を増強して年間3000台規模へ生産拡大する計画でしたが、中期的に見ても供給不足が懸念されるため、生産能力年間5000台に向けて、隣接する土地の取得と工場増設、設備投資を合わせて総額71億円の投資をすることを決定しました。

当社グループは、以前よりグローバル化戦略を推進し、現在はアジアや新興国を注力市場と捉え、積極的な事業展開を図ってきました。今回の唐山工場の生産能力増強により、今後ますます成長が見込まれる中国市場への拡販をより強力に推進し、さらなる発展につなげてまいります。

3. 今後の見通し

本投資による当期（平成23年3月期）業績への影響は軽微であり、平成22年7月30日公表の業績予想に変更はありません。

以上